

科目名	ロシアの安全保障と 国際関係特講	担当者	イヌイ 乾 イチウ 一字	期間	通年	単位数	4
-----	---------------------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>平和、平和と叫ばれるが、平和にはもともと 100%完全な、絶対的なものはない。つねに崩れる要因を抱えている。したがって、安全保障は国家にとって最大事である。 安全保障を普遍的な概念として規定することは難しい。国によって、あるいは論者の価値判断によって多様な見解がある。 これらを踏まえつつ、本講では次のことを目的とする。</p> <p>1 安全保障の概念及び安全保障に占める軍事力の意義について基本的に把握する。</p> <p>2 上記を踏まえたケーススタディとしてロシアの安全保障について、具体的にロシアの安全保障観及び国際関係について考察する。</p> <p>そして将来当面するか、または発生しようとする事態に対して、安全保障の見地からなんらかの客観的判断を下せることを狙いとしている。</p>		
到達目標	<p>1 安全保障の諸概念を自ら確立するとともに軍事力のもつ特異性の認識</p> <p>2 ロシアの安全保障観の特異性及び国際関係におけるその具現状況の把握</p>		
学修方法	<p>教材及び配布する講義資料、参考資料(講義資料以外の関連資料)をもとにレポートに取り組んで下さい。特に乾作成の講義資料「ロシアの安全保障と国際関係特講」(本文 26 頁)は教材を補うものであり、また参考図書理解を容易にするためのものです。その他の参考資料には修士論文作成のためのものもあり、十分活用して下さい。</p>		
スケジュール	<p>レポート最終稿提出期限は学事暦記載のとおりです。その5日前までは積極的な草稿のやりとりを望みます。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	内容は当然ですが、レポートの構成及び論理性を重視します。
	平常評価	30%	積極性及び自分で考えているかを重視します。
履修者への要望	<p>1 「安全保障」を忌避せず、国際政治における重要な要素の一つであるとの認識をもって本科目に挑戦して欲しい(今後の国際政治を見る上で裨益するところ大であろう)。</p> <p>2 冷戦時と冷戦後の国際状況の相違を的確に踏まえ、これからの国際社会がどのような方向に進もうとしているかを考えた上で、ロシアの具体例に取り組む意義を認識してもらいたい。</p> <p>いろんな見解を把握した後、自らの考えを論理的に説明することを期待します。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 防衛大学校安全保障学研究会編著 教材名： 『安全保障学入門（新訂4版）』（亜紀書房，2009年） ISBN:978-4-7505-0902-0 2,600円+税 本教材は、安全保障問題に学術的関心をもつ人を対象に編まれた入門書である。安全保障にかかわる各分野を体系的に解説するとともに各種の視点を提示することによって、安全保障問題を理解し、考えて行くための手掛かりを示している。13章ある中で、われわれに関心があるものとして「安全保障の概念」「国際安全保障体制論」「安全保障とパワー」「核と安全保障」「軍備管理・軍縮」「安全保障の非軍事的側面」「ポスト九・一一の安全保障」の章がある。
参考図書	土山実男「序章 安全保障の終焉？」『国際政治』第117号（日本国際政治学会，1998年） 佐藤誠三郎「『国防』がなぜ『安全保障』になったのか」『外交フォーラム1999年特別号21世紀の安全保障』（都市出版，1999年） 渡辺昭夫「『新しい戦争』の時代の安全保障とは」『外交フォーラム』2004年9月号（都市出版，2004年） ※何れもコピーを配付予定
履修上のポイント	安全保障研究は、国際政治学において不可欠の要素にもかかわらず、日本では平和主義的傾向からなおざりにされてきていた。そこで、本教材と履修時配布する講義資料「ロシアの安全保障と国際関係特講」で安全保障の概念の基礎を先ず把握する。その後、教材及び参考図書により軍事以外の要素をどう認識するかを考察する。それとともに軍事力の位置づけが明らかになる。
レポート課題 1	安全保障の概念について論ぜよ。 留意点： 安全保障という用語には明確な定義は存在しないが、その概念を自分なりに考察することにより、自己の認識が深められる。特に非軍事的側面をどう扱うかが一つのポイントとなる。
レポート課題 2	安全保障に占める軍事力の意義について述べよ。 留意点： 軍事力の意義の歴史的変遷を明確に把握し、それを基盤に今日的意義を考える態度が必要である。また核兵器をどう扱うかもポイントになる。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 乾一字 教材名： 『力の信奉者ロシアーその思想と戦略ー』（JCA出版，2011年） ISBN:978-4-88062-016-9 3,200円+税 ※絶版によりコピー配布予定。なお、現物必要なら出版社からの買い置きあり 2009年5月ロシアの安全保障の基本的指針となる「2020年までの安全保障戦略」が制定された。その中で安全保障の概念を軍事ばかりでなく、外交、経済、情報、環境などの分野を包括したものと規定している。国際社会の中のロシア、ロシアの国益、安全保障上の脅威、ロシアの国家安全保障の確保など綱領的戦略方針を述べている。これに基づき2010年2月「軍事ドクトリン」が制定された。それ以前のことも含め教材には時代別にそれぞれの内容が記述されている。
参考図書	ハリエット・F. スコット（乾一字訳）『〈改訂〉ソ連軍：思想，機構，実力』（時事通信社，1989年）ISBN:978-4-78-878927-2 3,200円+税 乾一字編『ロシアの安全保障と国際関係特講教材（和文，英文，露文）』（配布予定）
履修上のポイント	前期教材1で検討した安全保障の知識を基盤として、ロシアの安全保障戦略（構想）の形態をロシアの第一次資料で検証する。その際、安全保障の中心部分である軍事について、ソ連時代はこれが主体であったが、ロシアは現在どう位置付けようとしているのかを考察する。これにより、ロシア以外の国の安全保障構想についても考える能力を培えよう。なお、参考図書2番目特講教材の中の英文及び露文を読むことにより、安全保障上の用語に慣熟できるだろう。
レポート課題 1	現代ロシアの安全保障観について論ぜよ。 留意点： 冷戦時代と比較して、なぜロシアはこのような安全保障観をもとうとしているのかを意識して考察されたい。
レポート課題 2	現代ロシアの安全保障上からみた国際関係の理想と現実について論ぜよ。 留意点： 「安全保障構想」や「2020年までの安全保障戦略」及び「ロシアの軍事ドクトリン」などを認識しつつ、彼らの描く国際関係の理想を考え、現実はどのような展開になっているのかを考えられたい。その際、具体的に言及できればそれだけ考察が深まるだろう。